

さきたま

埼玉県鍼灸師会は厚生労働大臣免許保有者でつくる県内唯一の「はり師」及び「きゅう師」専門の公益社団法人です。

第218号

令和7年3月1日
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会
会長 山口 智

事務所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1
第2大矢部ビル 2F東

TEL 048-645-0416

HPアドレス <https://saitama-harikyuu.com>

事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp

〈広報委員長〉 大谷 尚子

〈編集委員長〉 阿部 琴美

〈広報委員〉 岩倉 史

行事予定表

3月
2日(日) 療養費等個別指導会
13日(木) オンラインサロン-彩-
16日(日) さいたまマラソンランナーズケア
30日(日) 療養費等個別指導会

4月
3日(木) オンラインサロン-彩-
17日(木) オンラインサロン-彩-
27日(日) 療養費等個別指導会

埼玉県鍼灸師会の活動

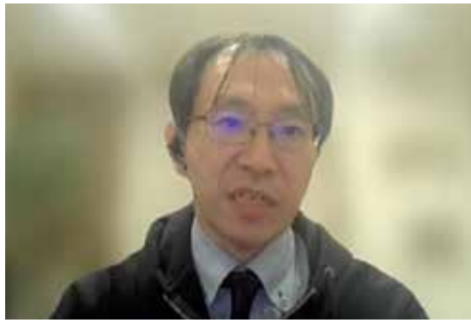
オンラインサロン-彩-の開催

第41回臨床研究会が令和6年12月19日(木)に「朝霞地区から見た鍼灸業界の過去・現在・未来」のテーマで行われ、宗岡鍼灸接骨院 院長 石川晶久先生にお話しいただきました。

第42回臨床研修会が令和7年1月21日(木)に「筋緊張に及ぼす鍼灸治療の影響」のテーマで行われ、北海道鍼灸専門学校副校長 二本松明先生にお話しいただきました。



石川晶久先生



二本松明先生

川口市マラソン大会ランナーズケア

川口市マラソン大会が令和6年12月1日(日)に川口市青木運動公園で開催され、山崎利夫先生・荻沼利光先生・岩田祐児先生・川畑充伸先生・加藤政明先生・小笠原荘介先生ほかお手伝い6名がランナーズケアを行い、68名の方に鍼を体験していただきました。



普及推進講座

令和7年1月12日(日)に大宮ソニックシティ906会議室で普及推進講座を開催しました。子どもの発達をサポートする「小児鍼の魅力」の演題で鍼灸院 花小紋 院長 森山富代先生にご講演いただきました。



森山富代先生

令和6年度 第2回療養費等適正運用研修会

普及推進講座に続き、令和6年度第2回療養費等適正運用研修会を開催し、健保委員から「オンライン資格確認に関して」「令和6年10月からの改定に関して」「書類記入上の注意」等についてお話ししました。



健保委員

令和6年度第1回 埼玉鍼灸学会認定研修C講座 (埼玉県鍼灸師会令和6年度第3回学術講習会)

令和7年1月26日(日)に埼玉医科大学かわごえクリニックに於いて令和6年度第3回学術講習会が埼玉鍼灸学会認定研修講座との共催で行われました。

今回は「最新のエビデンス&トピックス、そして臨床現場の最前線」のテーマで2部構成で行い、第1部は「難治性頭痛に対する漢方・鍼灸治療」「難治性頭痛に対する東洋医学的アプローチ」として漢方では埼玉医科大学 東洋医学科 光藤尚先生に、鍼灸は日本鍼灸治療専門学校 菊池友和先生 にご講演いただきました。

第2部は「小保浩先生追悼シンポジウム」とし、「臨床で得られた知見を研究に活かす」のテーマで「頭痛に対する鍼灸治療」を埼玉医科大学 東洋医学科 山口智先生、「脳卒中に対する鍼灸治療」を埼玉県鍼灸師会監事 アコール鍼灸治療院 河原保裕先生、「腰部脊柱管狭窄症に対する鍼灸治療」を現代医療鍼灸臨床研究会理事 新潟医療福祉大学 粕谷大智先生、「経絡経穴の科学」を筑波大学理療科教員 養成施設 和田恒彦先生にご講演いただいた後にシンポジウムを行いました。



光藤先生・菊池先生



山口先生・河原先生・粕谷先生・和田先生

健康まつり、マラソン大会等のボランティアのお知らせ

以下のマラソン大会会場でボランティア施術を行います。会場にお越しの際は、どうぞご利用ください。

■さいたまマラソン2025 ランナーズケアボランティアブース

令和7年3月16日(日) 午前9時~午後4時

さいたま新都心スーパーアリーナ

■彩湖リレーマラソン ランナーズケア

令和7年3月16日(日) 戸田彩湖 道満グリーンパーク

オンラインサロン-彩- 臨床研修会のご案内

鍼灸の情報交換や技術・知識の研鑽を目的とした『オンラインサロン-彩-』は研修会・講習会・臨床研究会を開催しております。

臨床研究会の参加方法はzoomによるリアルタイムの参加とFacebook上におけるアーカイブでの受講が可能です。リアルタイムでご参加いただくと講師の先生に直接質問することができます。

さらに、東洋療法研修試験財団生涯研修制度2ポイントが取得できます。

オンラインサロン-彩-の予定

臨床研究会

3月13日(木) 午後9時から

「東入間地区から見た鍼灸の未来(仮)」

東入間地区長 田中雪枝先生

4月 3日(木) 午後9時から

(令和6年8月に延期となった研修会)

「鍼灸師と精神科医の連携(APネットワーク)」

昭和大学発達障害医療研究所 中村元昭 先生

有明医療大学 保険医療学部 松浦悠人 先生

4月17日(木) 午後9時から

「埼玉医科大学病院における医療連携(仮)」

埼玉医科大学病院 堀部 豪 先生

毎月の利用料金 埼玉県鍼灸師会会員及び育成学生 無料
一般学生 500円、一般鍼灸師 1,500円

参加方法 QRコードからご登録ください。

ご質問などがございましたら
saishinkaihari9@gmail.comに
ご連絡ください。



日鍼会主催 第6回医療連携講座のご案内

日鍼会主催 第6回医療連携講座が、「膝痛」を対象に、埼玉県の宮崎竹医療専門学校で開催され、埼玉医科大学総合医療センター整形外科教授 乾洋先生、日鍼会会長の山口智先生、前会長の河原保裕先生に講演いただきます。また、医療連携の実践についての講演もあります。是非、現地も含めWEBでもご参加ください。

【講習会】第6回 医療連携講座

「膝痛の医療連携~膝OAとスポーツ~」

【日 時】2025年3月20日(木・祝) 9:50~16:20

【主催者】(公)日本鍼灸師会 学術委員会・研修委員会

【会 場】大宮呉竹医療専門学校(埼玉県さいたま市大宮区桜木町)

【形 式】現地とWEBのハイブリット(アーカイブ配信あり)

【定 員】現地参加 50名(WEB参加 50名)

【参加資格】日鍼会会員・準会員・学生・一般

【参加費】日鍼会会員・学生 5,000円 一般 8,000円

【締 切】2025年3月14日(金)

【講習内容】

9:50~ 開会式

10:00~ 膝痛の鑑別(変形性膝関節症を中心に)

埼玉医科大学総合医療センター整形外科

教授 乾洋先生

11:15~ 膝のスポーツ障害

立教大学スポーツウエルネス学部

特任准教授 吉田成仁先生

13:30~ 膝痛(変形性膝関節症)の鍼灸治療

①西洋医学的な立場から 埼玉医科大学東洋医学科

客員教授 山口智先生

②東洋医学的な立場から 日本鍼灸師会学術委員長

河原保裕先生

15:15~ 膝痛に関する療養費について

日本鍼灸師会 健保委員会副委員長

平野健一先生

16:20~ 閉会式

参加申し込みはQRコードからお願いします



旬の食べ物を食べて元気になるう!

今回の旬の食べ物は「そら豆」です。

そら豆は他の豆と違って、豆が入っているサヤが空に向かって垂直に伸びていくことが名前の由来になっています。そら豆の原産国は諸説ありますが、紀元前5000年頃のスイスの遺跡から種子が発見され、これが世界最古の農作物とも言われています。約2000年前には中国に渡り、日本には約1300年前に渡来されたとされています。

そら豆の旬は産地によってかわり、九州では12~4月、関東周辺では4~6月、東北地方では6~7月頃に収穫されます。

そら豆は栄養の塊のような食べ物で、炭水化物(糖質)・タンパク質・脂肪と栄養の三要素が多く入っています。中でもタンパク質は良質な植物性タンパク質なので、体の細胞を作ったりホルモンを作ったりするのに活躍する栄養素です。更に、体の機能を調節する役割があるミネラルであるカリウム・鉄・銅・亜鉛などが含まれています。食物繊維も大変多く含まれているため、便秘の予防・解消にも効果的です。カロリーも100gあたり251kcalですが、1粒4g程度なのであまりそら豆だけを100g以上食べることもないでしょうから、ダイエットにも優しい食べ物です。

また薬膳としての効能もあるとされていて、めまいやむくみがあるときに水の滞りをなくして胃腸の働きを高める効果があるとされています。

茹でて揚げて乾燥させても美味しいそら豆、是非おやつやおつまみに取り入れてみてください。



協賛各社
(順不同)

医道の日本社・ホシノ医療器株式会社・ヨシダ商事・アフラック募集代理店 株式会社むらた・セイリン株式会社・昭和エンタープライズ